

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023年10月21日 (18 : 00～ 19 : 00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏 ・高英淑・山縣友視・亀田優紀・新井久美・中井ミエ子・鹿子島みなみ ・下道猛・手塚幸子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	3人	人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も各職員は出勤前には申送り・個人の介護記録に目を通し、情報の確認をしてから業務に入るようにし個々の職員が自ら情報収集を行う様に意識づけをして行く。又、当日のリーダー職員はミーティング終了後参加できなかった職員へ業務に戻る前に必ず情報の伝達・共有をして行く。 ・家族や本人からの情報が得られにくくても、日々関わる中で行動や表情・些細な変化も全職員で共有しニーズや想いを知る努力をして行く。又、送迎時や電話等の時間も活用をし家族と密に連携を取ると共に 信頼関係を深められる様にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が出勤前に申送りなどから情報収集を行い、不明な点は他職員に確認し業務に入るようにした。 日々の関わる中で得た情報はミーティングを活用し共有する事が出来ているが、フロアの見守りなどでミーティングへ参加出来なかった職員への伝達が、業務にそのまま入ってしまい十分に伝わらない時があった。 ・送迎時や電話など家族と話す機会がある時は、自宅での様子や体調の変化がないか積極的にこちらから声掛けをする事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4人	8人	2人		14人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2人	12人			14人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2人	12人			14人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	10人	2人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①・②については、利用開始前に得た情報やニーズは出来るだけ細かく提示し、日々のミーティングや職員会議を通じ職員間で共有している。又、本人や家族が必要としている支援とこちらが提供するサービスについても都度すり合わせを行い、過不足のない支援を提供している。</p> <p>③については少しでも早く慣れてもらえるように小まめに声掛けをしたり、席の配置も工夫し考慮している。又、利用時の様子も家族へ報告し信頼関係が築けるようにしている。</p> <p>④については、家族と話す機会がある時は新たな情報が得られるようこちらから声掛けを行っている。家族が感じている不安や困りごとを聞き出せるような会話に努めている。自宅での様子に変化があった際はケアマネジャーへ報告し、必要な時はケアプランの変更・見直しも行っている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族が遠方であったり認知症のため本人から明確な情報が得られにくい場合もあり、利用開始までの期間が短いと情報収集が出来ていないと感じる時があった。 ・各自が申送りや個人の介護記録などから情報収集をしているが、見落としがあったり十分とは言えない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・情報が少ない場合でも、日々の関わりから本人や家族から少しでも情報を引き出せるように努力をして行く。都度得た情報はミーティングなどで共有し対応に反映させ信頼関係の構築に繋げて行く。 ・引き続き業務に入る前には各自が情報収集を行い、他者から聞かれても困らないように疑問点を解決しておく。昼のミーティングに参加できなかった職員については、どんな内容であったか自ら聞くように意識づけをして行くと共に空いた時間に申送り簿に目を通すようにする。 又、当日のリーダー業務の職員を中心に声掛けし合い習慣化して行く。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー ・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏
・高英淑・山縣友視・亀田優紀・新井久美・中井ミエ子・鹿子島みなみ
・下道猛・手塚幸子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	3人	人	14人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 今後も職員1名に対し利用者2～3名の担当制とし、センター方式を活用してその人を知る努力をして行く。日々の関わりの中から言動などにも注視をしながら、希望に沿った支援を提供できるようにして行く。新たな情報等があれば皆で共有すると同時に担当職員がその日のうちにアセスメントシートへの追加記入が出来るよう声掛けしあい習慣化できるように取り組む。 各利用者の目標の把握ができるように毎日のフローシートの記入を持ちまわりにし、全職員でその目標に沿った支援をおこない、目標達成にむけ関わっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> 各利用者の個人ファイルやアセスメントシートを改めて確認する事で、その人の今までの生活や今必要としている支援をより深く把握する事が出来ている。 個々のケアプランを基に、日々関わり担当利用者以外の目標の把握に努めた。フローシートや介護記録の記入については出勤職員全員で行うようにしたが、担当業務 (レクリエーションや入浴など) によって偏りがあった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール) 」がわかっていますか?	2人	10人	2人		14人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2人	11人	1人		14人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2人	9人	3人		14人
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2人	10人	2人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①・②・③については毎月2～3名の利用者をピックアップし、アセスメントシートやケアプランに目を通すことにより目標やニーズの確認が出来ている。本人の当面の目標を把握し対応に活かし、状態変化があればミーティング等にてその都度共有が出来ている。センター方式も活用し身体状況を含め本人の想いを探る努力をしている。	
④については、関わりから気づいた事は個人の介護記録へ記入すると共に職員間で共有し、本人の状態に合った支援が迅速に行えるようにしている。全職員で対応方法を検討し、家族とも施設や家での様子を情報交換し対応に活かすようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・継続し、職員1名に対し利用者2～3名の担当制としてセンター方式の活用に取り組んでいるが利用者個々の細かな目標やニーズ、担当以外の想いの把握がまだ不十分であると感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・月ごとに実施している利用者の個人ファイルの確認は継続し、ケアプランやセンター方式を通じ各利用者の生活に対する希望や想いを探り、より深く理解出来るようにして行く。月2～3名ずつケアプランをスタッフルームに掲示する。担当利用者以外の目標の把握に努め、ケアプランに沿った関わり・対応が出来るようにして行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー ・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏
・高英淑・山縣友視・亀田優紀・新井久美・中井ミエ子・鹿子島みなみ
・下道猛・手塚幸子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	3人		14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 本人・家族と会う機会や連絡を取る際は、こちらから声を掛け積極的に関わりを持ち何気ない言葉や行動からも新たな情報を得る努力をして行く。気持ちや希望、更に細かな情報が引き出せるような声掛けを行い信頼関係の構築に努める。 又、各利用者の担当職員が中心となり日々の関わりから情報収集をして行くと共に毎日のミーティングなどを通じてスタッフ間で共有をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時など家族と顔を合わせる時だけでなく、電話やメールも活用しコミュニケーションを取り、細かな情報交換にて家族や本人の気持ちを引き出せるように努めた。 日々の関わりから、利用者の些細な変化も毎日のミーティングや職員会議を活用し情報共有を行った。 家族とも報告・相談をし対応方法を検討する事で活かす事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3人	9人	2人		14人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4人	10人			14人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3人	9人	2人		14人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6人	9人	1人		14人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	3人	9人	2人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①については個々のアセスメントシート・センター方式にて確認している。 本人や家族との日々の関わりや会話からも情報収集し把握をしている。</p> <p>②については食事は利用者のその時の体調や状態に合わせ、形態や皿の変更(きざみ食やワンプレート等)を都度行っている。 入浴や排泄においても利用者に合わせて声掛けの仕方を変えたり、対応する職員の性別も考慮するなど個別に対応している。</p> <p>③・④・⑤については関わる中で本人の表情や言動から気持ちの変化を読み取り、ミーティング・介護記録への記入にて情報を共有し次の対応に活かしている。家族へも送迎時や連絡帳を活用し情報共有を行い、その後の様子も聴取している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 認知症故に本人からの情報が不明瞭で家族にも会う機会が少ない利用者においては、細かな情報が不足していると思われる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 今後も家族と関わる際は施設での様子や些細な変化も報告し、コミュニケーションを密に取り関係性が育めるようにして行く。又、利用者や家族が、要望や気持ちをこちらに発信しやすいような環境作りをして行く。 引き続き十分な情報が得られにくくても、本人の些細な変化や表情などから本人の想いや・～したいを探る努力をして行く。職員間でも情報を共有し、全職員で対応方法を検討して行く。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー ・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏
・高英淑・山縣友視・亀田優紀・新井久美・中井ミエ子・鹿子島みなみ
・下道猛・手塚幸子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	3人		14人

前回の改善計画
・毎月実施している各利用者のセンター方式・個人ファイルの確認は継続しておこなって行く。職員の中から係を決め、再確認を行ったかどうかの有無をチェック(ファイル確認をしたら記名をするチェック表を作成)し、できていない職員へはその都度声を掛け促し意識づけをして行く。 認知症であっても利用者の言動から背景を探り、想いを汲み取る努力をして行く。都度情報は全職員で共有し家族とも密に連携を取り、ケアの質の向上に繋げて行く。今後も家族とは電話・メール等も活用し情報交換をすると共に関係を深められるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・日常業務に追われファイル確認を優先出来ていない事があったが、係からの声掛けにて確認を促す事で多少意識づけはできたかと思うがまだ十分だと言えない。利用者や家族が管理者に直接連絡するのではなく、事業所へ連絡するよう促した事で各職員が家族と話す機会も増え少しずつではあるが関係を深められていると感じる。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2人	9人	3人		14人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れぬように支援していますか?	3人	8人	3人		14人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2人	8人	4人		14人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2人	9人	2人	1人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①については、毎月実施している個人ファイル(アセスメントシート等)のチェックにて利用者の情報の再確認ができ、ケアプランやセンター方式に目を通す機会も増えた。 ②、③については送迎時など家族と会う時は、自宅での様子を聞いたり連絡帳も活用し情報収集をしている。家族が遠方の場合でも、電話やメールを活用し日々の様子や体調変化がないか報告を行い、また新たな情報が得られるようコミュニケーションを図っている。本人からは送迎時や訪問時等、休日は何をしていたか他愛のない会話からも情報収集するように努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・認知症故に本人から情報が得られにくい。 連絡帳を活用されていない家族もあり、遠方であったり情報収集が出来る機会が少ない方もいる。 毎月実施している個人ファイルの確認・センター方式の記入を担当職員が出来ていない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・毎月実施している各利用者の個人ファイル・センター方式の確認と追加記入は継続し、日々変化する利用者・家族のニーズや想いを知り汲み取る努力をして行く。 ファイル確認等については係となった職員を中心に声掛けは継続し、言われた当日には確認をするよう働きかけ、それを定着させる意識作りを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー ・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏
・高英淑・山縣友視・亀田優紀・新井久美・中井ミエ子・鹿子島みなみ
・下道猛・手塚幸子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	3人	1人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であっても今できる事を継続して行い(通勤時の挨拶等)、地域との関係性が切れない様にして行く。行事などを通じ地域資源の活用をすると共に、新たな資源の情報収集や把握をして行く。コロナウイルスが収束した時には、地域密着委員会や運営推進会議を活用し地域との連携を図り、イベント等と一緒に企画・開催をして地域との関係性を深められるように努力して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・現状で出来る地域の方への挨拶や、金比羅通信での情報発信は継続して実施した。行事やレクリエーションでは地域資源の活用に努め、関係性が深められるように努力した。家族や本人の希望やその時の体調など状態に応じて、通いや泊りを相談しながらサービス提供をする事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2人	9人	3人		14人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6人	7人	1人		14人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4人	10人			14人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3人	11人			14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①については、レクリエーションや行事などで地域資源の活用に努めている。個人のかかりつけ医への受診介助等も行い、利用者と地域との関わりが切れない様になっている。</p> <p>②、③、④については本人・家族のニーズを基準に過不足のないサービスを提供している。利用日の追加、変更・急な送迎時間の変更等も臨機応変に対応している。日々の変化についても、気づいた時はミーティングで情報共有し周知が出来ている。その後も変化はないか、観察し対応方法の変更など適宜検討し柔軟に対応している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動を通して地域資源の活用を心掛けたが、コロナウイルスの影響もあり安全を考慮し慎重になってしまい外出等イベントへ参加する機会が少なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの規制緩和により、徐々にではあるが地域の方と交流できる機会が増えて来ている。運営推進会議や地域密着委員会を活用し、誰でも気軽に参加ができるイベントなどを協力し企画して行く。又、イベントへも参加を心掛け地域住民や家族ともコミュニケーションを取り、結びつきを深められる様にしていく。引き続き利用者や家族のニーズに寄り添い、又関りから本人の想いを汲み取りその想いが反映されたサービスが提供できるように支援して行く。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

6. 連携・協働

メンバー ・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏
・高英淑・山縣友視・亀田優紀・新井久美・中井ミエ子・鹿子島みなみ
・下道猛・手塚幸子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	4人	人	14人

前回の改善計画

- ・コロナ禍であっても今できる事を継続して行い(通勤時の挨拶等)、地域との関係が切れない様にして行く。コロナウイルスが収束した時には、同一建物内の他事業所とも連携しながら地域密着委員会や運営推進会議を活用し地域との連携を図る。
- 又、イベント等を一緒に企画・開催をして地域との関係性を深められるように努力して行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・現状で出来る通勤時の挨拶などは継続して行った。ホームページを活用し行事の紹介をしたり、地域密着委員会を通じ地域の方へ向けて金比羅通信の発行も行い情報発信も行っている。コロナウイルスの規制緩和もあり運営推進会議の再開等、地域の方と関わる機会が以前のように増えてきている。活用品バザーも地域の方と協力し、開催予定となっている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4人	10人	人	人	14人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2人	10人	2人		14人
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2人	4人	7人	1人	14人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1人	4人	7人	2人	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ①、②については管理者・ケアマネジャー・看護師が中心に各機関との連携を図っている。そこで得た情報は職員会議などで伝達、書面でも職員間で情報共有が出来ている。
- ③、④についてはコロナウイルスの規制緩和もあり、運営推進会議も再開され地域の方との関わりが増えてきている。海峡花火大会では施設の4階を開放し、地域の方の観覧もあった。ベルマーク回収やペットボトルキャップの寄付も継続しており、小学校・地元スーパーとの繋がりもきれないようにしている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域住民が施設を訪れる機会が少ない。コロナウイルスの規制緩和がなされているが、人と会う事が敬遠される傾向もあり協働しているとは言えない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・コロナウイルスの規制緩和により、徐々にではあるが地域の方と交流できる機会が増えて来ている。運営推進会議や地域密着委員会を活用し、地域の方が気軽に参加ができるイベントなどを協力し企画して行く。今後も地域へ向けてホームページや金比羅通信・挨拶などからも、事業所を知ってもらうために情報発信を行い地域に根ざした事業所を目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

7. 運営

メンバー ・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏
・高英淑・山縣友視・亀田優紀・新井久美・中井ミエ子・鹿子島みなみ
・下道猛・手塚幸子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	3人	人	14人

前回の改善計画
・今後もコロナ禍であってもできる事を継続して行い情報発信をして行く。地域住民と会う機会がある時は必ずこちらから挨拶をするなどアピールを続け、関係性が深められるよう努力をして行く。 コロナウイルスが落ち着き規制緩和がされた際は運営推進会議や地域密着委員会を活用し地域と協力して行事を開催して行く。 ・利用者獲得についても勉強会のテーマに（見学者の対応・説明など）取り入れ、限られた職員だけが携わず全職員で携わる意識を持つようにして行く。
前回の改善計画に対する取組み結果
・継続し地域の方と会う機会がある時は、こちらから挨拶を行うようにしている。行事の様子などもホームページに掲載し情報発信をするよう心掛けた。コロナウイルスの規制緩和もあり、運営推進会議の再開・活用品バザーの開催も予定されており徐々に地域の方と関わる機会が増えてきている。 ・事業所への問い合わせや見学者の対応については、管理者やケアマネジャーがメインとなってしまう一部の職員しか携わる事が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	3人	10人	1人		14人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2人	11人	1人		14人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	9人	4人		14人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1人	7人	5人	1人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	①については個々が感じた事は些細な事でも日々のミーティングや職員会議で話し合い、改善に向け全職員で検討を行っている。スタッフルーム内に意見箱を設置し、誰でも気づきや意見を投函出来るようにしている。 ②については利用者・家族からの声は、その都度職員間で情報共有が出来ている。管理者やケアマネジャーを中心に家族と相談し対応方法の変更を行いより良い方向へ導けるように迅速に対応をしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・コロナウイルスも規制緩和となったが人と会う事が敬遠され、行事などを通して地域の方と交流できる機会が少なかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・コロナウイルスの規制緩和により、徐々にではあるが地域の方と交流できる機会が増えて来ている。運営推進会議や地域密着委員会を活用し、地域の方が気軽に参加ができるイベントなどを協力し企画して行く。 又、今後も地域へ向けて情報発信を行い地域に根ざした事業所を目指す。 ・勉強会を活用し、よくある問い合わせ内容や事業所についてなど利用者獲得に向け職員間で共通認識を持ち情報の再確認をする。誰でも見学や問い合わせに対応出来る様に、継続し全職員で携わるようにして行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー ・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏
・高英淑・山縣友視・亀田優紀・新井久美・中井ミエ子・鹿子島みなみ
・下道猛・手塚幸子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	1人		14人

前回の改善計画	・今後も毎月の勉強会ではすぐに業務に活かせる内容をテーマにし、職員個人だけでなくチーム全体のスキルアップに繋げて行く。個人の自己学習も継続し、リモート研修への参加などコロナ禍であっても今できる方法で新たな知識やスキルを取得し各職員の意識の向上を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・毎月、職員会議後に実施している勉強会では日々の対応に即時活かせる内容にし、それを通じ新たな知識を得て全員の周知・徹底・スキルアップへ繋げている。 コロナ禍であったが、リモート研修などできる範囲で参加し学んだ事を業務へ取り入れるようにした。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6人	7人	1人		14人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	7人	4人	1人	14人
③ 地域連絡会に参加していますか	1人	8人	3人	2人	14人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	2人	10人	2人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①、②については、継続し毎月職員会議後に勉強会を実施し全職員でスキルアップを図っている。テーマは毎月変更し職員が講師となり、すぐに実践で活用できるようシミュレーションも交え工夫を凝らしている。資格取得のための研修や、自身の苦手分野の研修に参加するなど理解を深め業務に取り入れている。 ④については感染対策委員・事故対策委員を中心に事例検討や今後起こりうる事案についても、職員会議やミーティングにて話し合いをしている。都度、皆で改善点を検討し再発防止に繋げている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・一部の職員は研修への参加が出来ているが、勤務の関係や都合がつかず参加が出来ない職員もいた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・今後も継続し毎年計画している研修計画に沿って、個々が自己研磨を行う。 研修案内があった際はスタッフルームに案内を貼付し、又管理者から該当職員へ早めに参加を促し勤務調整をしていく。 研修へ参加した職員は研修内容をファイリングし誰でも閲覧できるようにする。学んだ事を勉強会等にて他職員へ伝達する機会を設け、新たな知識と技術の習得・全体のスキルアップを図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年10月21日 (18 : 00～ 19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー ・野村恵美・岩崎良子・水口真由美・藤原しのぶ・張光利治・水野正宏
・高英淑・山縣友視・亀田優紀・新井久美・中井ミエ子・鹿子島みなみ
・下道猛・手塚幸子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人			14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 今後も勉強会のテーマや職員会議内で取り上げ、全職員の虐待や身体拘束への理解・意識を高め、正しい知識を持ち支援をしていく。業務の中で気になる事柄があれば職員で話し合い、どのようにしたら良いかその都度改善に向け取り組むようにして行く。 リスクが高い時ほど職員間でいつも以上の声の掛け合いを心掛け、協力体制を築いていけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会のテーマにも挙げ理解を深め日々のケアが不適切でないか再確認・振り返りをする機会を作っている。 職員会議内でも適宜研修を行い (事故対策研修・虐待防止研修等) 事例を挙げ、全職員で対応方法を検討し次の対応に活かしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	10人	4人			14人
② 虐待は行われていない	10人	4人			14人
③ プライバシーが守られている	8人	6人			14人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	3人	8人	3人		14人
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	7人	7人			14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①、②については職員会議や勉強会・ミーティングを通じ知識の再確認を行い、日々の支援について振り返りを行っている。気になる所はその場の状況に応じて全員で話し合い、対応方法の変更などより良いケアが提供出来るよう取り組んでいる。</p> <p>③、⑤については引き続きミーティングは別室で実施し外部の人へ情報が入らないようにしている。書類や個人情報に関するものも、都度職員間で声掛け・注意をしあい管理の徹底に努めている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> フロア内で職員が利用者の近くで利用者の名前のある情報交換をしてしまい、差し障りない内容であっても本人に不快な思いをさせたのではと思う事があった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> プライバシーや個人情報については、再度勉強会や研修を実施し全員が共通認識を持ち意識強化を行う。 介護者主体のケアになっていないか、職員会議やミーティングなどで自身の言動を常に振り返り職場環境の活性化に繋げていく。 	